

Title	今回のピア・スーパービジョンを振り返って：第13回 ピア・スーパービジョン報告
Author(s)	川副, 美春
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.24-No.1, 2014.9 : 26-27
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=5144
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〈今回のピア・スーパービジョンを振り返って〉

今回は、2名の卒業生の発表と参加者全体によるピア・スーパービジョンを行った。参加人数は少数であったが、一人一人の思いや考えを共有できるいい機会となった。発表において共通して言えることは、日常の業務を行うだけではなく、今後の課題も踏まえながら、支援者として日々どうあるべき考えながら関わっていることが伝わってきた。

さまざまな課題を抱えている人に出会うソーシャルワーカーは困難があり、行き詰ってしまうことも多い。しかし、クライアントにかかわる中で、クライアントから得ることが多くあり、クライアントの言葉や行動から気付かされることも多くある。いつも目の前には課題がという状態であるが、私達の専門性は課題の解決だけではなく、クライアントにかかわることである。クライアントが目標としていたゴールに辿りつけなくても、かかわりの過程でクライアントの迷いや不安、喜びをともしてきたことが後になるととても大切なものだと実感する。むしろ、課題の解決よりもっとあの時クライアントにかかわっておけばよかったと思うことの方が多い。だからこそ、ソーシャルワーカーは悩みが付きな職種であるが、こうして悩めているのはソーシャルワーカーだからであり、クライアントにかかわろうという思いがしっかりあるからこそ悩むことができているのだと最近はあるようになってきている。

ピア・スーパービジョンは、様々な現場の話や



コーディネーター：河副美春さん

それぞれのかかわりに触れることができる。自らのかかわりだけではなく、他者のかかわりを知ること、明日からの業務に活かしていける何を見つけることができる場である。これからもこのピアを大切にしていきたい。

（文責：河副 美春〔かわぞえ・みはる〕三井記念病院勤務、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、2003年度聖学院大学人間福祉学科卒業）